

# 寝たきり老人の国 圧しな国

真の豊かさへの挑戦



朝日新聞論説委員  
大熊由紀子

## 「寝たきり」がなぜ「圧しな」?

その謎をさぐる旅は  
お年寄りのことから  
障害をもった人々のこと  
そして政治や文化  
民主主義の問題と  
ひろがっていた  
あたたかくシャープな  
女性ジャーナリストの  
眼がとらえた  
「真の豊かさとは

熱い想いを  
こめた  
書き下ろし!

### 秘密その六 家庭医といふ名の専門医



家庭医の診察室は客間のような雰囲気。椅子もお客用のムードです

#### ●表に広い守備範囲

デンマークでは、医師も、生活の場に出向きます。

「家庭医」という専門医たちです。

近年は、その家庭医が集まって行なうグループ診療が注目されています。

そうしたクリニックのひとつを、ホルベックで訪ねました。

入口には看板も何もありません。ドアに「医院」という地味な文字が掲げられているだけです。ところが、中に入ると、美しい色づかいの壁掛けやカーテン、白木の家具が、暖かい雰囲気をかもしだしています。患者が座る椅子もひじかけのついた籐製で、日本の診察室で見かける粗末な丸椅子とは雰囲気が違います。血圧計など検査機器もカラフルで、冷たいとか痛いというイメージが湧きません。

ここでは、研修中の一人を含め五人の医師が働いていました。このうち

午前中二人が、そして午後別一人が往診に出かけます。リーダーのアルミン医師の午前の往診先はこんなふうでした。

- 一人目・日本の特別養護老人ホームにあたるブライエムに住むアルツハイマー病の女性（64歳）の診察に。彼女の口にヘルペスができて食べられなくなったため。
- 二人目・ケア付きアパートに住むパーキンソン病の女性（87歳）の診察に。肺炎を起こしかけたため。
- 三人目・ケア付きアパートに住む車いすのリウマチの女性（80歳）の診察に。発熱したため。
- 四人目・アパートに住む精神分裂病の女性（37歳）を往診。向精神薬のデボ剤を注射するために。熱を出していた娘（13歳）にも薬を。

デボ剤というのは効果がおよそ一月続く注射薬で、飲み薬を嫌う患者に使われるものです。

こうして見ると、診療の場面は実にバラエティーに富んでいます。これだけのレポートリをこなせるのは、家庭医としての修業を積んでいればこそです。

日本では、「年をとってメスさばきに自信がなくなつたから」とか「父親が開業医だから」という理由で、内科・小児科を看板にしたよろず承り医院を開く医師がいますが、それとはまるで違うのです。

「専門医になれなかつたから家庭医になる」というのではなく、「家庭医」という専門医として認定され、「家庭医」は病院の部長なみの高い評価を受けているのです。この専門医になるには、医学部卒業後一年間、家庭医のもとで実地の勉強をし、その後四年間、病院で各科を回ります。さらに夜の往診の修業を半年間続けます。いずれも有給ですが、継続してこのポストを得るのはむずかしいので、ふつうは卒業後十年はかかり、家庭医として開業するのは三五歳くらいから。一人で患者を二千人まで持つことができます。

デンマークに住む人は誰でも、家庭医を一人選んで、自分の「かかりつけのお医者さん」として登録しま

す。ブライエムに住むお年寄りも家庭医を持っていて、往診を受けます。登録してある家庭医に診てもらうときは、診察料は自己負担がありません。相性が悪かったり、信頼できなかつたら、一年に一回の登録のとき、家庭医を変えることができます。

### ●医療費のほとんどは税金で

デンマークでは、医療サービスの費用はほとんど税金でまかなわれています。大学病院は国立、その他の病院はすべて県立、病院の医師は公務員です。ただし家庭医は県と契約を結んでいる「開業医」です。

登録患者一人について約四四〇〇円の固定収入が、県から医師に支払われます。病気になつてもならなくてもです。これを「人头払い」といいます。家庭医は平均一七〇〇人の患者から登録を受けています。これに仕事の量に応じた「出来高払い」の報酬が加わります。

「出来高払い」は、診療すればするほど報酬が増えるので乱診乱療気味になつたり、病院への紹介が遅れたりするマイナスがありえますが、熱心に治療をする家庭医が損をしないで済むという良い面もあります。「人头払い」には、大勢の患者から信頼されている医師ほど収入が増えて報いられるというプラスの面があります。

併用方式は長年の試行錯誤の結果でした。



ブライエムに住む人もそれぞれ家庭医を持っています。88歳のこの女性は、往診で足の手術を受けています。☆